

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（千葉中央・九十九里部会）		
タイトル	千葉県森林研究所訪問、山武の森公園		
実施日時	平成28年 9月15日（水）10時～15時		
実施場所	山武市		
受講者	0名	F I C会員他スタッフ	8名

活動の内容

2年半ぶりに、千葉県農林総合研究センター森林研究所を訪問しました。今回は「海岸林での広葉樹の活用について」というテーマについてプレゼンテーションして頂くとともに、研究所構内の見学を主たる目的としました。

最初に研究所構内を、福島所長のご案内で見学しました。正面玄関前のサンプスギ見本林は50年生で見事な森になっていますが、ここのサンプスギも非赤枯性溝腐れ病に侵されています。スギに関する研究所の最大テーマはサンプスギの非赤枯性溝腐れ病対策で、主としてサンプスギの雌花に各地のスギ精英樹の花粉を受粉させて育成した苗の生育状況等が見学できました。その他気象条件とヒノキの花粉量の関係、ヒノキ球果にカメムシ対策を施すことによる発芽率の向上等興味深い研究状況を知ることが出来ました。

次に、「海岸林での広葉樹の活用」について小森谷研究員にプレゼンテーションして頂きました。海岸林に使えるような広葉樹、つまり潮風に強いと思われる樹種は、トベラ、シャリンバイ、マサキ、ウバメガシ等が上げられます。更に、海岸線から離れた内陸側のエリアではタブノキやモチノキの活用も考えられるとのこと。まだ実験開始から4年ほどしか経っていないので確定したことは云えない段階ですが、樹種毎の優劣や植栽方法の優劣について貴重な知見が得られつつあるようです。しかしいずれもクロマツとの併用が必要で、広葉樹だけで海岸林を構成することは難しそうです。ただ、広葉樹ではありませんがビャクシン（イブキ）は潮風にかなり強そうで、単独でもあるいは！と期待がもてるかも知れないとのこと。

午後は山武の森公園の散策、更に日向にある「F I Cが選んだ50の森」にも選ばれている見事なサンプスギの森を見学して解散しました。



左:非赤枯性溝腐れ病対策用スギ苗

右:ヒノキのカメムシ対策（球果に袋掛け）



大きくなり始めたコブシの花芽（左）と葉芽（右）

（山武の森公園）



メタセコイア雄花（山武の森公園）